

平成28年6月21日(火)

老球の細道244

## 忘れてはいけない ジェームス・ネイスミス

会津バスケットボール協会 室井 富仁

「夢は動かなければ見つからない。燃えなければつかめない」。「髪にくしを入れるより脳にシワを入れろ。ポケットには一本のクシよりも一冊の文庫本を」。かつてジェームス・ネイフーミンが語った無名な箴言である。「ジェームス・ネイフーミン」とはバスケットボールの創始者「ジェームス・ネイスミス」にあやかってつけたどこかのお馬鹿さんのセカンドネームである。

①聖書購読研究、②人間学理論、③倫理学、④キリスト教奉仕方法論、⑤体育(運動生理学、体操、フェンシング、バスケットボール)、この5教科の授業科目をネイスミスはカンザス大学の教員の時に担当していた。比較するのもおこがましいが、保健と体育しか授業科目を担当していない私とは月とスッポン、隕石と校庭の石というところか。

このような授業科目とネイスミスとの結びつきは彼の生い立ちを知ると理解できるに違いない。1861年11月6日カナダ・オンタリオ州アルモントに生まれる。両親はスコットランドからの移民であった。9歳で両親と死別し、姉、弟と共に叔父の家に預けられた。そこでの遊びや仕事の手伝いを通じて、困難なことに独りで立ち向かえる力を身につけた。地元の高校に進学したが叔父の仕事が繁忙になったために高校中退する。

ある日、畑仕事の最中に「自分のような逆境にある人々に救いの手を差し伸べられる牧師になろう」という啓示を受ける。高校へ復学し猛勉強に励み、モンリオールのマッギル大学、長老派神学校を卒業。この時の強烈な勉強が後の多彩な授業指導につながっていく。マッギル大学でアメリカンフットボールにはまり、牧師の道から体育スポーツへの道に進路変更をする。神学校を卒業後、意を決してマサチューセッツ州スプリングフィールドにある国際YMCAトレーニングスクール(現スプリングフィールド大学)に入学。人物、能力を買われて卒業後同スクールの教員に採用され、バスケットボールを創案する。

その後もネイスミスは進化し続ける。医学にも興味関心を示し、デンバーに転勤した時、近くの現コロラド大学で医学博士号を取得。その後最後の勤務地カンザス大学に奉職する。41年間務めたカンザス大学での彼の人柄は、「ちょっとやそつとでは中途半端な妥協は絶対にせず、甘い気持ちに流されることもなく自己を厳しく律している人」と評された。

ネイスミスはバスケットボールの創案者としての名誉欲、私利私欲、自己顕示欲といったものにはまったく関心を示さなかった。この一貫した姿勢に徹したがあまり、地味で質素な人生をたどった。「バスケットボール」の名前をつけるときも、最初は「スミスボール」とつけたらいいのではないかと周囲の人々にすすめられたが強く辞退した。

1936年ベルリンオリンピックで男子バスケットボールが正式種目になる。妻のモードさんと一緒にベルリンへ旅行する予定だったが、モードさんの心臓発作でやむなく一人で旅立った。オリンピックでは出場21か国のコーチのうち17人がネイスミスの母校国際YMCAトレーニングスクールの卒業生だった。このことにネイスミスは大きな誇りを感じたという。帰国後まもなくして妻のモードが死去(1937年67歳)。ショックで大学を退職し、みるみる元気をなくし1939年78歳の生涯を閉じた。かえすがえす、バスケットボール創案者がジェームス・ネイスミスであることを誇りに思う。